

5-9

逆デイサービスの取り組み

地域の中における施設の役割を実践する

地域活動

外出の機会の拡大

特別養護老人ホーム ゆたか苑

介護職員 川田 壽美代

庄司 早苗

東京都豊島区長崎3-26-4

朝山 まゆみ

TEL 03-3959-2129

E-mail: yutaka-c@douen.jp

FAX 03-3959-2149

URL: <http://members.tripod.co.jp/yutakaen/>

今回の発表の施設
またはサービスの
概要 10p

社会福祉法人立で平成8年4月、隣接する長崎公園とともにゆたか苑は開設されました。50床の特養で現在4床のショートステイを併設しています。その他居宅介護支援事業では2名のケアマネージャーが地域で元気に活躍しています。

〈取り組んだ課題〉

入所者の外出の機会を増やして欲しい。地域の拠点となる施設作りをおこないたい。等の希望があり、施設の機能を地域に役立てるため、地域高齢者とふれあいや交流をはかりながら、ユニット的ケアの実践をおこなえる逆デイサービス事業の取り組みをおこなうこととなった。

- ・特別養護老人ホームゆたか苑入所者の外出の機会を増やし、地域住民の身近な場所である長崎第1区民集会室において、逆デイサービス事業の実践を行う。
- ・地域社会とのふれあいや交流をはかりながら筋力の低下および認知症の進行予防を図るなどケアの質を高める。
- ・地域社会とのふれあいの中で介護予防を促進する。

〈具体的な取り組み〉

長崎第1区民集会室において、ゆたか苑入所者および地域在住の高齢者を対象とした介護スペースを開設・運営し、逆デイ・サービスの取り組みをおこなった。

- ・個別・グループリハビリの提供をおこないユニット的ケアを実践した。
- ・地域住民との身近な場所でのレクレーションの場を提供し、ケアの質を高める取り組みをおこなった。
- ・開設は一日単位とし、コアタイムを2時間以上4時間未満とした。
- ・地域への周知と豊島区へのバックアップ依頼や新事業に向けた広報活動をおこなった。経費は平成17年度東京都特別養護老人ホーム支援費事業で実施。

〈活動の成果と評価〉

成果 特別養護老人ホームゆたか苑入所者の外出の機会を増やし、地域住民の身近な場所である長崎第1区民集会室において、ユニット的ケアの実践をおこなうことができた。ゆたか苑入所者の筋力の低下および認知症の進行予防を図るなどケアの質を高める結果につながった。地域高齢者の介護予防の促進を果たす役割を作り出すことができた。地域高齢者との交流を深めることができ、施設利用者、地域高齢者共に安心した生活を送れるよう支援するしくみである地域コミュニティケア実現への取り組み強化につながった。具体的には、ゆたか苑が拠点となり、地域で暮らす高齢者の生活をサポートするしくみ作りの機会とすることができた。

評価

ユニット的ケア、地域交流がどのような効果を及ぼしたかアンケートによる評価を行うとともに利用者、地域住民双方からヒアリングを行った。

〈今後の課題〉

会場に使用した長崎第1区民集会室は現在は売却され、使用できなくなりましたが、今でもゆたか苑でおこなわれるリハビリに地域高齢者で元気な顔で参加されている方もいます。また地域支援事業としての介護予防事業に積極的に取り組んでいます。今後もゆたか苑が拠点となり、地域で暮らす高齢者の生活をサポートするしくみ作りに邁進していきたいと願っています。